

# JAみねのぶ



JAみねのぶ祭（峰延農協農産物検査場、8月25日）

■発行日/令和元年9月1日/No.1409号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社



森川組会長・伊藤専務理事と懇談する板東美唄市長

**美唄市長が小麦集出荷調製施設を視察来訪**

8月5日、板東美唄市長が峰樺3区にある美唄市小麦集出荷調製施設と峰延地区収穫機械施設利用組合を小麦出荷状況の視察に訪れました。

板東市長一行は、美唄市内にある10ヶ所の調製施設の視察で当JAの施設にも立ち寄ったもので、麦の出荷状況や品質等を聞き取り、森川組会長、伊藤専務理事、工藤農業施設課長が対応しました。

板東市長は、「今年は好天が続き小麦の品質が良いようなので万全な調製作業でより多くの良品質麦が出荷されるように願っています。」と述べていました。

**30年度食料自給率 37%で過去最低**

農林水産省は8月6日、平成30年度の食料自給率がカロリーベースで前年度比1%減の37%になり過去最低になったと発表しました。食料自給率37%は米の記録的な凶作に見舞われた平成5年度と並ぶ過去最低値と並んだことになりました。生産額ベースの自給率は66%で過去2番目に低かった前年度と同じでした。

平成30年度の自給率が下がった主な要因は、小麦と大豆の主産地である北海道が天候不順で生産量が大幅に減少したことに加え、両品目や畜産物等の生産が全国で増えていないことが要因とされています。

食料自給率は、国内の食料消費を国内の農業生産でどの程度賄えるかを示し、政府は平成25年度に、食料・農業・農村基本計画で令和7年度にカロリーベースで45%にする目標を掲げていますが、今回

の低下で目標の実現が難しくなりました。また、食料自給率は統計を取り始めた昭和53年度の79%をピークに低下が続き、主要先進国の中で最低の水準となっています。

**第2回監事監査終わる**

本年7月末を基準日とする第2回監事監査が8月19日から21日までの3日間、高田代表監事以下3名の監事によって執行されました。本年度の第2四半期における事業の進捗状況及び会計処理の状況等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事、幹部職員に対して今回の監査結果について講評が行われました。

**第7回(8月)定例理事会の開催について**

8月23日開催の第7回定例理事会において次の事項が決定されました。

**◇付議事項◇**

1. 信用限度を超えた資金の貸付について
2. JAにおけるマネロンガイドラインとのギャップ分析結果について
3. 諸規程の一部改正について
4. 農業協同組合検査指摘事項改善・対応状況等の報告について

**おくやみ申し上げます**

菅サヨ子さん (97歳) 7月29日

美唄市上美唄町南

木村 政善さん (84歳) 8月14日

岩見沢市峰延町436番地

藤崎 藤男さん (87歳) 8月22日

美唄市西4条南3丁目2-5

**一報徳一**

**勤情の分界**

翁のことばに、一言を聞いても人の勤情はわかるものだ。東京は水さえ銭が出るというのは、怠け者だ。水を売つても銭がとれるというのは働き者だ。夜もまだ九時なのに、十時だというのは寝たがるやつで、まだ九時前だというのは勉強心のあるやつだ。すべての事を、下に目をつけ、下に比較するのは、必ず下り向きの怠け者だ。たとえば、碁を打つて遊ぶのは酒を飲むよりましだ、酒を飲むのはばくちよりましだという類がそれだ。反対に、上に目をつけ、上に比較するのは、必ず上向きなものだ。古語(論語、子張篇)に「一言もって知となし、一言もって不知となす。」とあるが、まことにもつともなことばだ。

### 峰延農協年金友の会が スポーツ大会開催

8月6日、峰延農協年金友の会（吉田 栄会長）のスポーツ大会が峰延小学校体育館で開催されました。

このスポーツ大会はスポーツ競技を通して会員相互の友好の輪を広げるとともに健康増進を図ることを目的に毎年開催を続けていて今年で38回目となります。

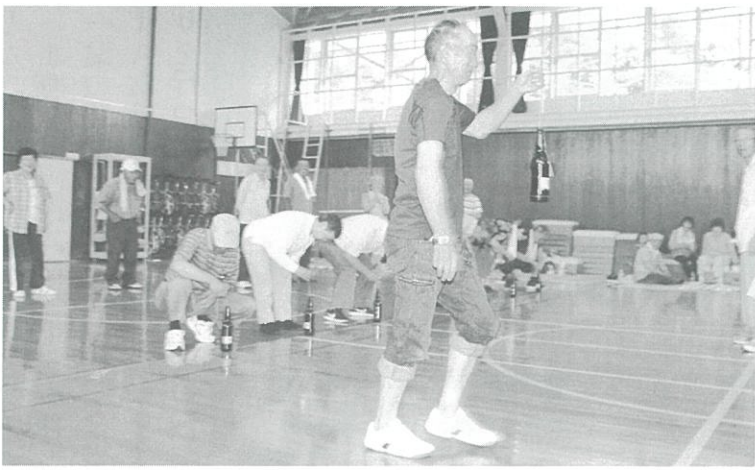
例年通り真夏の風通しの悪い屋内での開催で、蒸し暑く、競技で



体を動かしている皆さんは汗だくで奮闘していました。

参加者は108人、吉田会長の挨拶、JA伊藤専務理事の祝辞に続いて全員で準備体操を行い、全11種目にグループ又は個人で全員が参加、童心に戻って楽しく競技を行っていました。

今回は、峰延小学校の児童5名（3年生1名、4年生1名、5年生3名）が午後の種目から参加し年金の友の会の皆さんと一緒に汗を流していました。



心配された熱中症や怪我等はなく、楽しいひと時を過ごしていました。



小学生が玉入れに加わりました

### JA青年部が 現地研修会を開催

8月8日午前、伊藤青年部長（岩見沢市北村中小屋）の圃場で本年度2回目の青年部現地研修会を開催しました。当日はあいにくの雨降りとなりましたが、多くの青年部員が参加しました。

今回は、空知管内農業振興プロジェクト・青年部試験として取り組まれている水稲疎植栽培の生育状況確認と栽培趣旨・栽培方法に



ついて空知農業改良普及センターの二俣係長に現地に向いてもらい研修会を開催しました。水稲疎植栽培は株間を慣行栽培より広げて移植する事により、育苗労働時間の減少及びコスト低減を図る技術で、実際に現地を確認した結果、慣行栽培と比較し遜色ない生育となっており、青年部からは前向きな声が聞かれました。

その後の質疑応答では、青年部員より栽培技術等積極的に質問が出て有意義な研修となりました。



雨天でも大勢参加し熱心に研修を受けていました

**小林篤一翁の墓参に訪れる**

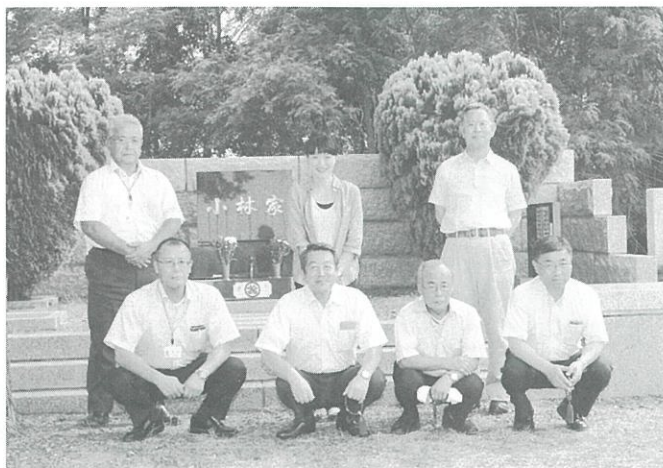
8月7日、北海道報徳社の一行が三笠市峰延墓地にある小林篤一翁の墓参りに訪れ森川組合長、伊藤専務理事、安達常務理事が同行しました。

墓参りに訪れたのは、J A 北海道信連経営管理委員会会長の佐藤彰氏（J A 北いしかり会長理事）、北海道報徳社の石田常務理事、柴田氏、女性職員の4人で森川組合長、伊藤専務理事、安達常務理事と共に墓の周囲を清掃し墓石を洗った後、花を供え線香を手向けま



墓の周囲を清掃し墓石を洗う皆さん

した。  
北海道報徳社では毎年、小林篤一翁の墓参を続けていて近年は当J A 常勤理事も同行し一緒に墓参りを行っています。



**J A 女性部  
「部員1人タオル1本運動」で  
集まったタオルを寄贈**

J A 女性部（吉村俊子部長）が、福祉施設にタオル等を寄贈するために「部員1人タオル1本運動」を実施、部員から提供を受けたタオル・綿布を美唄市峰延町公園にある恵風園・恵祥園の高齢者福祉施設に寄贈しました。

この事業は女性部員の全員参加の運動として毎年続けていて、粗品や記念品でもらう新品のタオル1本又は使い古しの綿布（洗濯済みのも）を持ち寄り福祉施設等で役立ててもらおうと年1回の寄贈を行っています。今年はタオル42本、綿布2枚が集まり、8月19日に吉村部長と矢部副部长、澤田副部长が恵風園・恵祥園を訪問し和田園長に手渡しました。  
和田園長は「毎年、寄贈をいただき本当にありがとうございます。備品として施設内で使わせていただきます。」と感謝を述べました。



和田園長に手渡す吉村部長、矢部副部长、澤田副部长

**真夏日9日連続 35年ぶり**

岩見沢では、最高気温が30℃以上の真夏日が7月30日～8月7日までの9日間連続となりました。岩見沢での真夏日の連続記録は昭和25年8月4～13日の10日間。この連続記録に次ぐ、岩見沢での真夏日の連続記録は昭和59年8月3～11日の9日間、本年は昭和59年と同じとなり35年ぶりとなります。美唄での今年の真夏日連続は8月1～7日の7日間でした。

**J A み ね の ぶ 祭  
（第29回農産物消費者交流会）  
開催する**

8月25日（日）、毎年恒例のJ A み ね の ぶ 祭（農産物消費者交流会）が峰樺3区にある農産物検査場で開催されました。この交流会はJ A み ね の ぶ の 農産物のP R と生産者と消費者との交流の場にしようと開催を続け今年が29回目になります。

来場者はハスカップ狩りに訪れた消費者の皆さんに開催案内を郵送した他、J A 組合員の皆さんには新聞折込等のチラシで周知し多くの方々を訪れていました。  
森川組合長は開会挨拶の中で、



新鮮野菜等の即売は大盛況

「数日前から台風の影響等で雨天が心配されましたが、大勢の方にご来場いただきありがとうございます。趣向を凝らしたイベントをたくさん用意しているので最後まで楽しんでいただきたいと思います。」と述べました。

朝取り野菜生産者の会の新鮮野菜、こだわり南瓜生産者の会のホクホク南瓜、峰延ハスカップ生産組合のジャム等の加工品、菜宝箱の落花生加工品と新鮮野菜、峰延手打ちそば愛好会の手打ちそば、プチBOXの手作り雑貨、きま

な主婦の会のとり飯、ヤコットの手作りパン、峰千加のクレープと加工品・野菜、JA青年部のビール・ソフトドリンクとフライドポテト、ポプラ会の甘辛ダレのつくね、女性部の綿菓子、福よしの焼き鳥、かどやの米粉を使ったこ焼き・ソフトクリームの各店舗が午前10時5分に一齐にオープンしました。来場した皆さんは最初に地場農産物等を買おうと各店に殺到し、その後はゆつくりと焼鳥やとり飯、そば、ビール等を楽しんでいました。



いも・玉葱・枝豆詰め放題は毎年大人気



かぼちゃころがしは子どもたちが活躍

この日は開会当初は一時霧雨が降りましたが、その後は曇りから晴れに変わり、生ビールがよく売れて、福よしの焼き鳥には常時行列が出来ていました。

先着550名限定のとりめしと先着600名限定の手打ちそばの試食コーナーでは長い列にならないうように番号を区切って渡していました。裏方の気ままな主婦の会と峰延手打ちそば愛好会の皆さんは早朝から汗だくで仕込みに追われていました。

工夫を凝らしたイベントが次々と行われ、500円いも・玉葱詰

め放題・枝豆しばりでは、開始前の受付に長蛇の行列ができ、開始後15分足らずで用意したいも・玉葱・枝豆は無くなってしまいました。

小学生以下の子供を対象にしたかぼちゃをボールに見立て転がしてペットボトルのピンを倒すボーリングでは20人余りの子供が参加し高得点を出した方には景品が渡されました。

近隣のJA青年部対抗綱引き大会では、当JA青年部、美唄市、いわみざわ、そらち南の他に当J



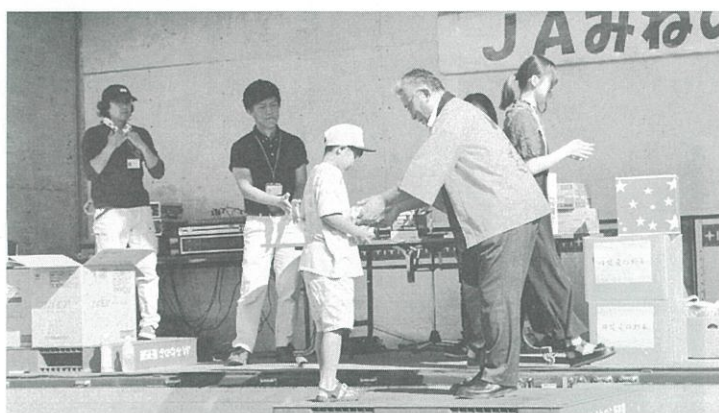
青年部対抗綱引き大会は迫りに感動 (写真は当JA青年部)



大ビンゴ大会で一番にビンゴし高額景品を受け取り

A職員チームの全5チームで予選を行いました。時間を空けて行った決勝戦は当JAといわみざわ、見事優勝したのは当JA青年部で賞金が手渡されました。綱引きが始まると会場は迫力の熱戦に見入っていました。

毎年一番盛り上がる大ビンゴ大会では、「ダイソン扇風機空気清浄機能付タワーファン」「折りたたみ自転車」「BOSEワイヤレススピーカー」「第一滝本館ペア宿泊券」等の人気の豪華景品が用意され、来場者の皆さんはビンゴ



最後の抽選会は安達常務理事の引く番号で豪華景品

券を手番号を聞き逃さないように耳に全神経を集中し、番号が発表される度にざわめきが起きていました。続いて行われた抽選会も「3万円分旅行券」等の豪華な景品が用意され、安達常務理事が引く当たり番号に期待が外れた落胆の声が繰り返されていました。

JA組合員の皆さんも多く来場し、米収穫前の晩夏のひと時を過ごしていました。閉会は、伊藤専務理事が来場のお礼と来年もお待ちしておりますと述べ午後3時過ぎに閉会しました。

【連載】～続・今こそJA!～

## 【最終回】JAが果たすべき役割とは？

2年間にわたって連載してきた「今こそJA」も今回が最終回になります。JAは競争原理ではなく、人と人とのつながりで成り立っている組織であり、組合員の営農と生活を守るために様々な事業を行っていることをお話してきました。

二宮尊徳はその教えの中で、徳を以って徳に報いることの大切さを説いています。これは人々が地域で生きていくためにお互いが助け合うこと＝相互扶助が重要であることをあらわしています。日本は小規模家族経営のままで農業生産力をアップすることに成功した唯一の国といわれています。その大きな役割を果たしてきたのが日本の農業協同組合＝総合農協なのです。

しかし、協同組合には欠点もあります。何か物事を決める場合、協同組合は組合員一人一人の意見を聞き、合意をとって進めることを基本としています。このことによって急激な情勢変化に対応できず、大切な判断が遅れてしまうこともあります。今回の農協改革のような外圧によって自己改革の機運も高まりましたが、「協同組合だから今のままでいい」ということではなく、JAも組合員のニーズにこたえられる組織に自ら変えていかなければなりません。

自由競争が叫ばれる現在の日本において「相互扶助」の大切さを再認識し、なぜ協同組合が生まれたのかという原点に立ち返り、その仕組みや理念を知ることが大切なのではないでしょうか？地域にとってJAでなければできないことがまだまだたくさんあります。今こそJAが力を発揮すべき時なのです。(おわり)



## JAグループ通信 38

## JA北海道中央会



7月31日にJA北海道中央会と各連合会の役員にて、吉川農林水産大臣を含む農林水産省幹部職員及び道内選出与党国会議員等に対して、令和2年度国費予算概算要求に向けた要請運動を実施いたしました。「持続可能な北海道農業の確立に向けた政策提案」に基づき、農業予算の万全な確保に加え、国際貿易協定・交渉対策や労働力確保対策に向けた支援強化、各作物の需給安定対策の構築等を要請しました。また「食料・農業・農村基本計画」と「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」、「経営所得安定対策の交付単価」の見直しに向けては、家族経営基盤の維持・強化の視点や生産現場の実態を踏まえた議論を進めるよう要望しました。

引き続き、JAグループ北海道の政策提案の実現と日米貿易協定交渉については、「農業経営や生産基盤に影響がでないよう適切な国境措置の確保」、「北海道農業を犠牲としない毅然とした対応」を政府・与党に求め、今後も北海道の農家・組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



## JA北海道信連



地元プロ野球チーム・ファイターズのスポンサーイベントデーとして、7月19日、JAバンク北海道スペシャルナイターを札幌ドームで開催しました。本イベントは、昨年に引き続き2回目になります。今回は、新たにJA特産品の物販コーナーを設けた他、参加JAの女性職員から対戦チーム両監督への花束贈呈を行いました。また、中央会などとも連携して、サポーターづくりに向けたPRを実施しました。



## JA共済連北海道



7月18日に札幌・共済ホールにて「全道LA・スマサポ大会」が開催され、平成30年度普及活動で優秀な成績を収められたLA33名と、スマイルサポーター11名が登壇し表彰されました。

JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック(保障点検活動)」の実践を通じて、組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めてまいります。



## ホクレン



ホクレンと北海道日本ハムファイターズが連携して、同球団の発信力を生かして北海道農業の魅力を伝える「北海道農業応援プロジェクト」の取り組みが6月28日より開始しました。その一環として、7月13日に同球団マスコットの「ポリー」と「B☆B」が、ホクレン食と農のふれあいファーム「くるもの杜」にて、窯焼きピザを調理する体験イベントを開催し、消費者との交流を深めながら北海道産農産物のPRをしました。



## JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

このたび紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。  
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

精そう、大地と地域のみらい。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



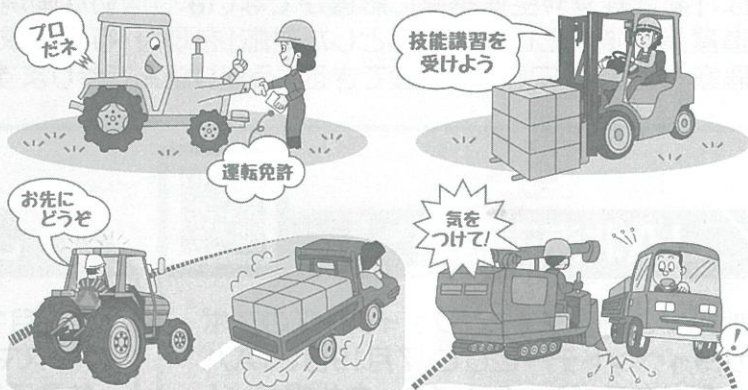
マナー・マーク・保険

# 農作業安全「MMH」運動に みんなで取り組もう

M  
マナー

## トラクター等運転は、 交通ルールと運転マナーを遵守しよう

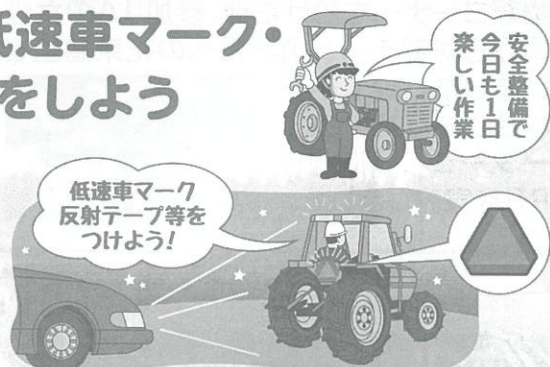
- 運転には、道路走行に必要な運転免許、作業に必要な受講証・免許を取得し、交通ルールを守り安全運転に努めましょう。
- トラクター等農耕作業用自動車の道路走行時には、一般自動車と路上で共存を図るために、保安装備を的確に付け、道をゆずる・迂回路を使う・使用道路時間帯に配慮する等、一般交通の妨げにならないよう心掛けてください。また、道を汚さない等の運転マナーも遵守しましょう。



M  
マーク

## 点検・整備の励行と低速車マーク・ 反射テープ等の装着をしよう

- トラクター等農耕作業用自動車は、自動車検査制度（車検）の義務が免除されましたが、整備不良は重大な事故を招く恐れがあるので、自主的な点検・整備を励行しましょう。
- 一般の自動車との速度差が大きくて追突事故につながる恐れがあるので、低速車マークや反射テープ等を貼付けましょう。また、保安灯火等の装着等によって、後続車に早く認知され、事故が起きないように配慮してください。



H  
保険

## 労災保険と傷害共済・自動車共済等 任意保険へ加入しよう

- 農作業事故・交通事故が発生すると、受傷した本人ばかりが農家経営全体に重大な影響を及ぼします。万一の場合に備えて労災保険や共済等任意保険に加入し、安心して農業経営に当たりましょう。



## 北海道農作業安全運動推進本部

北海道 JA北海道中央会 JA北海道信連 ホクレン JA共済連 JA北海道厚生連 北海道NOSAI  
北海道農業公社 北海道農業機械工業会 北海道クボタ キセキ北海道 ヤンマーアグリジャパン  
三菱農機販売 日本ニューホランド エム・エス・ケー農業機械 北海道農機商業協同組合

北海道農作業安全運動推進本部ホームページ

<https://agr-anzen.jimdo.com/>



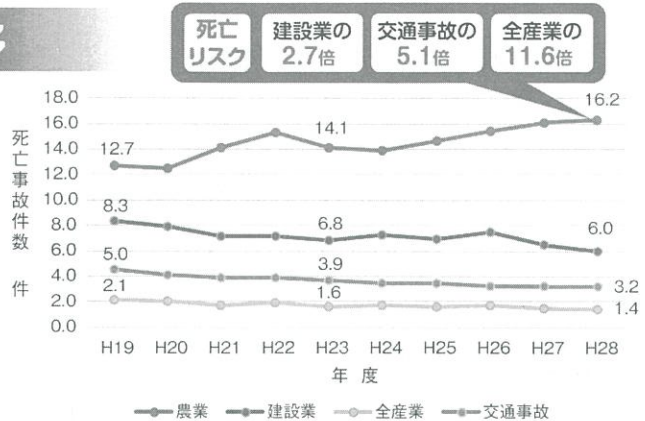


# 農作業の事故発生状況！

## 10万人当り死亡事故件数の推移

⚠ 10万人当りの死亡事故件数では、建設業、全産業、交通事故が減少傾向で推移する中、農業は増加傾向を示しており、死亡リスクが最も高くなっています。

⚠ 事故情報やヒヤリハットを共有し、農場や農作業に関するリスクが確認できたら、それらのリスクを改善して農作業事故を防ぎましょう。



資料：死亡事故件数と人口から算出。  
 死亡事故件数は、農林水産省生産局、警察庁交通局、厚生労働省安全課調べ。  
 総人口及び労働者数は、農林水産省統計部「農業構造動態調査」の農業就業人口、総務省統計局調べ。

## 農作業事故件数の推移

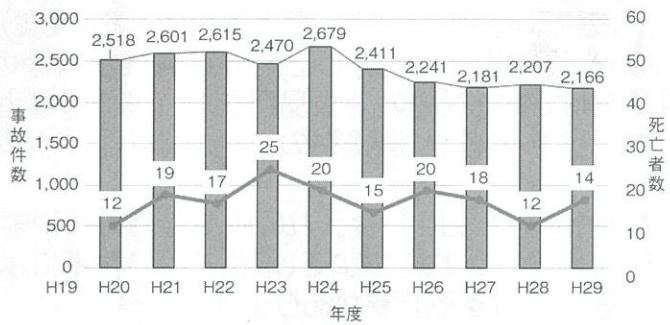
⚠ 北海道における死亡事故件数は、平成26年以降に減少傾向を示していましたが、29年度は増加となりました。

⚠ 負傷事故件数は、ほぼ横ばいで推移していましたが、29年度は減少傾向を示しています。

⚠ 事故率は、農業就業人口が毎年減少していることから高まっており、被害者の多くは、農業の中心的な担い手となっている60歳以上の高齢者に集中しています。

死亡事故は増加傾向  
 死者 172名

負傷事故は減少傾向  
 負傷者 23,917名



## 分類別事故件数の推移

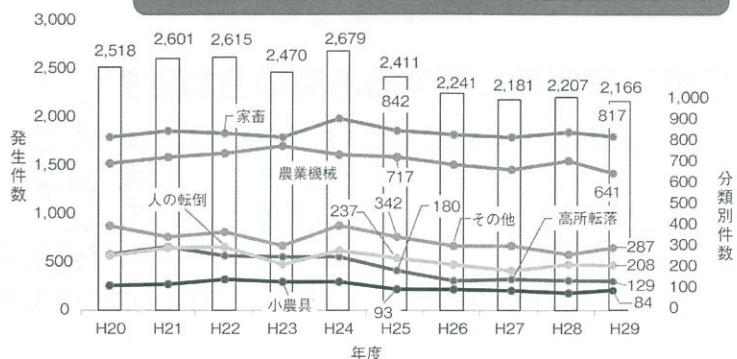
⚠ 分類別事故件数は、平成20年以降、家畜の事故が農業機械の事故を大幅に上回って推移しています。

⚠ 家畜では、牛との接触によるものが最も多く、農業機械では、トラクター操作中に事故に遭うケースが相次いでいます。

家畜に踏まれる、蹴られる、挟まれるなどで 8,344件 34.6%

農業機械の転倒転落、落下、挟まれるなどで 7,057件 29.3%

人の転倒、高所からの転落、その他を含めて 8,688件 36.1%



## 令和元年10月1日から消費税軽減税率制度が実施されます

令和元年10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が8%から10%に引き上げられると同時に、消費税の軽減税率制度が実施されます。

### ●軽減税率(8%)の対象品目

軽減税率が適用されるのは、次の対象品目の譲渡(販売)です。

- 飲食料品…食品表示法に規定する食品(酒類を除く)をいい、一定の要件を満たす一体資産を含みます。外食やケータリング等は軽減税率の対象品目に含まれません。
- 新聞…一定の題号を用い、政治、経済、社会、文化等に関する一般社会的事実を掲載する週2回以上発行されるもので、定期購読契約に基づくものをいいます。

### ●帳簿及び請求書等の記載と保存

消費税率が複数税率となりますので、制度実施前の記載事項に加え、軽減対象資産の譲渡等である旨及び税率ごとに区分して合計した税込対価の額を記載した請求書等(区分記載請求書等)を交付することや、日々の経理において取引を税率の異なるごとに区分して記帳し、帳簿に軽減対象資産の譲渡等に係るものである旨を記載するなどの対応が必要となります。

また、課税事業者の方は、仕入税額控除の適用を受けるためには、こうした複数税率に対応した帳簿及び区分記載請求書等の保存が必要となります。

### ●軽減税率制度は全ての事業者の方に関係します

軽減税率制度の下では、売上げや仕入れ(経費)を税率ごとに区分して経理する必要があるほか、複数税率に対応した区分記載請求書等の交付や保存が必要となります。このような事務は、軽減税率の対象品目を取り扱う事業者はもとより、軽減税率の対象品目の売上げがない事業者や、消費税の納税義務のない免税事業者を含め、全ての事業者に関係します。

- 飲食料品の売上げ・仕入れの両方がある課税事業者の方  
売上げや仕入れについて、取引ごとの税率により区分経理を行うことや、区分記載請求書等を交付する必要があります。
- 飲食料品の売上げがなくても、飲食料品の仕入れ(経費)がある課税事業者の方  
仕入れ(経費)について、取引ごとの税率により区分経理を行う等の対応が必要となります。
- 免税事業者の方  
課税事業者と取引を行う場合、区分記載請求書等の交付を求められる場合があります。  
※免税事業者からの仕入れについても、課税事業者が仕入税額控除を行うためには、区分記載請求書等の保存が必要です。

### ●軽減税率制度に関するお問い合わせ先

- 消費税軽減税率電話相談センター(軽減コールセンター)  
専用ダイヤル 0120-205-553(無料) 【受付時間】9:00~17:00(土日祝除く)
- 軽減税率制度に関する詳しい情報については、  
国税庁ホームページの特設サイト「消費税の軽減税率制度について」  
([www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/index.htm](http://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/zeimokubetsu/shohi/keigenzeiritsu/index.htm))をご覧ください。